

2024年度 自己点検・評価項目一覧

【学部】

I 現状分析

基準1 理念・目的
1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①学部（学科）ごとに、大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける人材育成その他の教育研究上の目的（教育目標）を明らかにしていますか。（はい・いいえ）
②学部（学科）ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的（教育目標）を学則又はこれに準ずる規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。（はい・いいえ）
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①学部において、学部長及び教授会・委員会等の役割や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。（はい・いいえ）
②学部において、質保証委員会を設置し、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。（はい・いいえ）
基準4 教育・学習
4.1 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。
①授与する学位ごとに、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしていますか。（はい・いいえ）
②授与する学位ごとに、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）において、学習成果を達成するために必要な教育課程の編成（教育課程の体系、教育内容）・実施（教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等）方針を明確にしていますか。（はい・いいえ）
③また、カリキュラム・ポリシーにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしていますか。（はい・いいえ）
④上記の学習成果は授与する学位にふさわしいですか。（はい・いいえ）
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
①授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目を開講していますか。（はい・いいえ）
②各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化をしていますか。（はい・いいえ）
③「法政大学学則」第23条（単位）に基づいた単位設定を行っていますか。（はい・いいえ）
④学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。（はい・いいえ）
⑤学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。（はい・いいえ）
4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。
①「法政大学学則」第22条の2（履修科目の登録の上限）に基づき、1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定を行っていますか。（はい・いいえ）
②それぞれの授業形態（講義、語学、演習・実験等）に即して、1授業たりの学生数が配慮されていますか。（はい・いいえ）
③授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
④ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
⑤学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応を行っていますか。（はい・いいえ）
⑥単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置を行っていますか。（はい・いいえ）

い・いいえ)
⑦シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。(はい・いいえ)
⑧授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等の措置を行っていますか。(はい・いいえ)
4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。
①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。(はい・いいえ)
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続(学生からの不服申立への対応含む)を学生に明示していますか。(はい・いいえ)
③「法政大学学則」別表(10)「認定単位の上限」に基づき、既修得単位などの適切な認定を行っていますか。(はい・いいえ)
④「法政大学学則」第17条(卒業所要単位)に基づき卒業・修了の要件を明確にし、刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても、予め学生に明示していますか。(はい・いいえ)
⑤学位授与における実施手続及び体制が明確になっていますか。(はい・いいえ)
⑥ディプロマ・ポリシーに則して、適切に学位を授与していますか。(はい・いいえ)
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
②入学前アンケート及び卒業生アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
③学修成果可視化システム(Halo)を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
【具体的な活用事例の記入】
基準5 学生の受け入れ
5.1 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。
①学位課程ごとに、アドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)を設定していますか。(はい・いいえ)
②上記のアドミッション・ポリシーは、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示していますか。(はい・いいえ)
③アドミッション・ポリシーに沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施していますか。(はい・いいえ)
④入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。(はい・いいえ)
⑤すべての志願者に対して分かりやすく情報提供していますか。(はい・いいえ)
5.2 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。
①【2024年5月1日時点】学部・学科における入学定員充足率の5年平均と収容定員充足率は、下記の表1の数値の範囲内ですか。(はい・いいえ)
学部・学科における入学定員充足率の5年平均 0.90以上1.20未満
学部・学科における収容定員充足率 0.90以上1.20未満
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①学部の教員組織の編制は、「人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)」、「求められる教員像及び教員組織の編成方針」に整合していますか。(はい・いいえ)
②教員が担う責任は明確になっていますか。(はい・いいえ)
③法令で必要とされる数は充足していますか。(はい・いいえ)
④科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成となっていますか。(はい・いいえ)
⑤各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理をしていますか。(はい・いいえ)
⑥教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な

教育研究活動を実現していますか。(はい・いいえ)
6.2 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。
①教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っていますか。(はい・いいえ)
②年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っていますか。また、性別など教員の多様性に配慮していますか。(はい・いいえ)
基準 7 学生支援
7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。
①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか(補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。(はい・いいえ)
②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。(はい・いいえ)
③学習の継続に困難を抱える学生(留年者、退学希望者等)に対し、その実態に応じて対応していますか。(はい・いいえ)
④ICTを利用した遠隔授業を行う場合にあつては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応(授業動画の再視聴機会の確保等)を必要に応じて行っていますか。(はい・いいえ)
基準 8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準 9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があつた場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準 4 教育・学習
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
④アセスメントポリシー(学習成果を把握(測定)する方法)は、ディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
⑤アセスメントポリシーに基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B)

上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準5 学生の受け入れ
5.3 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握していますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげていますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①学部内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②学部内で教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B)
上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

【教育開発支援機構】

教育開発・学習支援センター

I 現状分析

基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①教育開発・学習支援センターにおいて、センター長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②教育開発・学習支援センターにおいて、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2 各基準の改善・向上

基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準8 教育研究等環境
8.1 教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。
①学生の主体的な学習を支援するための組織的な取り組みを行い成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

市ヶ谷リベラルアーツセンター・小金井リベラルアーツセンター

I 現状分析

基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①リベラルアーツセンターにおいて、センター長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②リベラルアーツセンターにおいて、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準4 教育・学習
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
①各授業科目の位置づけ(主要授業科目の類別等)と到達目標の明確化をしていますか。(はい・いいえ)
②「法政大学学則」第23条(単位)に基づいた単位設定を行っていますか。(はい・いいえ)
③学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。(はい・いいえ)
④学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。(はい・いいえ)
4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。
①それぞれの授業形態(講義、語学、演習・実験等)に即して、1授業あたりの学生数が配慮されていますか。(はい・いいえ)
②授業形態、授業方法が大学の教育目標や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。(はい・いいえ)
③ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。(はい・いいえ)
④単位の实质化(単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保)を図る措置を行っていますか。(はい・いいえ)
⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。(はい・いいえ)
⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置を行っていますか。(はい・いいえ)

4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。
①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。(はい・いいえ)
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続(学生からの不服申立への対応含む)を学生に明示していますか。(はい・いいえ)
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
②入学前アンケート及び卒業生アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
【具体的な活用事例の記入】
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①教員が担う責任は明確になっていますか。(はい・いいえ)
②教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。(はい・いいえ)
基準8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準4 教育・学習
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
③学習成果を測定するために設定した指標は、大学のディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
④学習成果を測定するために設定した指標に基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見

直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①リベラルアーツセンター内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

【通信教育課程】

I 現状分析

基準1 理念・目的
1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①学部(学科)ごとに、大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②学部(学科)ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を学則又はこれに準ずる規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。(はい・いいえ)
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①学部(学科)において、通信教育部長及び通信教育学務委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②学部(学科)において、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準4 教育・学習
4.1 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。
①授与する学位ごとに、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②授与する学位ごとに、カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)において、学習成果を達成するために必要な教育課程の編成(教育課程の体系、教育内容)・実施(教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等)方針を明確にしていますか。(はい・いいえ)
③また、カリキュラム・ポリシーにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしていますか。(はい・いいえ)
④上記の学習成果は授与する学位にふさわしいですか。(はい・いいえ)
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
①授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目を開講していますか。(はい・いいえ)
②各授業科目の位置づけ(主要授業科目の類別等)と到達目標の明確化をしていますか。(はい・いいえ)
③「法政大学通信教育部学則」第27条(授業科目)に基づいた単位設定を行っていますか。(はい・いいえ)
④学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。(はい・いいえ)
⑤学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。(はい・いいえ)

4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。
①「法政大学通信教育部学則」第30条（年間履修単位の上限）に基づき1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定を行っていますか。（はい・いいえ）
②それぞれの授業形態に即して、1授業たりの学生数が配慮されていますか。（はい・いいえ）
③ICTを利用した遠隔授業は自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
④単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置を行っていますか。（はい・いいえ）
⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。（はい・いいえ）
⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置を行っていますか。（はい・いいえ）
4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。
①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。（はい・いいえ）
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。（はい・いいえ）
③「法政大学通信教育部学則」第32条（既修得単位の認定）に基づき既修得単位などの適切な認定を行っていますか。（はい・いいえ）
④「法政大学通信教育部学則」第29条（卒業所要単位）に基づき卒業・修了の要件を明確にし、刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても、予め学生に明示していますか。（はい・いいえ）
⑤学位授与における実施手続及び体制が明確になっていますか。（はい・いいえ）
⑥ディプロマ・ポリシーに則して、適切に学位を授与していますか。（はい・いいえ）
基準5 学生の受け入れ
5.1 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。
①学位課程ごとに、アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）を設定していますか。（はい・いいえ）
②上記のアドミッション・ポリシーは、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示していますか。（はい・いいえ）
③アドミッション・ポリシーに沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施していますか。（はい・いいえ）
④入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。（はい・いいえ）
⑤すべての志願者に対して分かりやすく情報提供していますか。（はい・いいえ）
5.2 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。
①【2024年5月1日時点】学部・学科における入学定員充足率の5年平均と収容定員充足率は、下記の表1の数値の範囲内ですか。（はい・いいえ）
学部・学科における入学定員充足率の5年平均 0.90以上1.20未満
学部・学科における収容定員充足率 0.90以上1.20未満
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①教員が担う責任は明確になっていますか。（はい・いいえ）
②法令で必要とされる数は充足していますか。（はい・いいえ）
③科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成となっていますか。（はい・いいえ）
④各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理をしていますか。（はい・いいえ）

⑤教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。(はい・いいえ)
基準 7 学生支援
7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。
①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか(補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。(はい・いいえ)
②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。(はい・いいえ)
③学習の継続に困難を抱える学生(留年者、退学希望者等)に対し、その実態に応じて対応していますか。(はい・いいえ)
基準 9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準 4 教育・学習
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
①アセスメントポリシー(学習成果を把握(測定)する方法)は、ディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②アセスメントポリシーに基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準 5 学生の受け入れ
5.3 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

②点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①学部(学科)内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

【大学院】

I 現状分析

基準1 理念・目的
1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①研究科(専攻)ごとに、大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②研究科(専攻)ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を学則又はこれに準ずる規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。(はい・いいえ)
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①研究科において、研究科長及び教授会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②研究科において質保証委員会を設置し、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準4 教育・学習
4.1 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。
①授与する学位ごとに、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②授与する学位ごとに、カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)において、学習成果を達成するために必要な教育課程の編成(教育課程の体系、教育内容)・実施(教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等)方針を明確にしていますか。(はい・いいえ)
③また、カリキュラム・ポリシーにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしていますか。(はい・いいえ)
④上記の学習成果は授与する学位にふさわしいですか。(はい・いいえ)
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
①授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目を開講していますか。(はい・いいえ)
②各授業科目の位置づけ(主要授業科目の類別等)と到達目標の明確化をしていますか。(はい・いいえ)
③「法政大学大学院学則」第15条(「単位」)に基づいた単位設定を行っていますか。(はい・いいえ)
④学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。(はい・いいえ)
⑤学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。(はい・いいえ)
4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

①授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。(はい・いいえ)		
②それぞれの授業形態に即して、1授業たりの学生数が配慮されていますか。(はい・いいえ)		
③ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。(はい・いいえ)		
④単位の実質化(単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保)を図る措置を行っていますか。(はい・いいえ)		
⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。(はい・いいえ)		
⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置を行っていますか。(はい・いいえ)		
⑦研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)を書面で作成し、あらかじめ学生が知ることのできる状態にしていますか。(はい・いいえ)		
⑧研究指導計画に基づく研究指導、学位論文指導を行っていますか。(はい・いいえ)		
4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。		
①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。(はい・いいえ)		
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続(学生からの不服申立への対応含む)を学生に明示していますか。(はい・いいえ)		
③「法政大学大学院学則」第20条の2(入学前既修得単位の認定)に基づき既修得単位などの適切な認定を行っていますか。(はい・いいえ)		
④「法政大学大学院学則」第22条(修了要件)、第26条(修了要件)に基づき卒業・修了の要件を明確にし、刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても、予め学生に明示していますか。(はい・いいえ)		
⑤学位論文審査基準を定め、文章等によって予め学生に明示し公表していますか。(はい・いいえ)		
⑥学位授与における実施手続及び体制が明確になっていますか。(はい・いいえ)		
⑦ディプロマ・ポリシーに則して、適切に学位を授与していますか。(はい・いいえ)		
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。		
①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)		
②修了生アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)		
【具体的な活用事例の記入】		
基準5 学生の受け入れ		
5.1 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。		
①修士課程・博士課程ごとに、アドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)を設定していますか。(はい・いいえ)		
②上記のアドミッション・ポリシーは、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示していますか。(はい・いいえ)		
③アドミッション・ポリシーに沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施していますか。(はい・いいえ)		
④入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。(はい・いいえ)		
⑤すべての志願者に対して分かりやすく情報提供していますか。(はい・いいえ)		
5.2 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。		
①【2024年5月1日時点】研究科・専攻における収容定員充足率は、下記の表1の数値の範囲内ですか。(はい・いいえ)		
研究科・専攻における収容定員充足率	修士課程	0.50以上 2.00未満
	博士課程	0.33以上 2.00未満
基準6 教員・教員組織		
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編		

制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①研究科の教員組織の編制は、「人材育成その他の教育研究上の目的（教育目標）」、「求められる教員像及び教員組織の編成方針」に整合していますか。（はい・いいえ）
②教員が担う責任は明確になっていますか。（はい・いいえ）
③法令で必要とされる数は充足していますか。（はい・いいえ）
④科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成となっていますか。（はい・いいえ）
⑤各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理をしていますか。（はい・いいえ）
⑥教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。（はい・いいえ）
6.2 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。
①教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っていますか。（はい・いいえ）
②年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っていますか。また、性別など教員の多様性に配慮していますか。（はい・いいえ）
基準 7 学生支援
7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。
①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。（はい・いいえ）
②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。（はい・いいえ）
③学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応していますか。（はい・いいえ）
④ICTを利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応（授業動画の再視聴機会の確保等）を必要に応じて行っていますか。（はい・いいえ）
基準 8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。（はい・いいえ）
基準 9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。（はい・いいえ）
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。（はい・いいえ）
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準 4 教育・学習

4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

③学習成果を測定するために設定した指標は、ディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
④学習成果を測定するために設定した指標に基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準5 学生の受け入れ
5.3 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①研究科内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②研究科内で教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

【インスティテュート】

スポーツ・サイエンス・インスティテュート (SSI)

I 現状分析

基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①SSIにおいて、運営委員長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②SSIにおいて、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準4 教育・学習
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成

していること。
①各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化をしていますか。（はい・いいえ）
②「法政大学学則」第23条（単位）に基づいた単位設定を行っていますか。（はい・いいえ）
③学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。（はい・いいえ）
④学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。（はい・いいえ）
4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。
①それぞれの授業形態（講義、語学、演習・実験等）に即して、1授業あたりの学生数が配慮されていますか。（はい・いいえ）
②授業形態、授業方法が大学の教育目標や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
③ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
④単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置を行っていますか。（はい・いいえ）
⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。（はい・いいえ）
⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置を行っていますか。（はい・いいえ）
4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。
①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。（はい・いいえ）
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。（はい・いいえ）
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。（はい・いいえ）
②入学前アンケート及び卒業生アンケートの結果を組織的に活用していますか。（はい・いいえ）
【具体的な活用事例の記入】
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①教員が担う責任は明確になっていますか。（はい・いいえ）
②教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。（はい・いいえ）
基準7 学生支援
7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。
①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。（はい・いいえ）
②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。（はい・いいえ）
③学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応していますか。（はい・いいえ）
④ICTを利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応（授業動画の再視聴機会の確保等）を必要に応じて行っていますか。（はい・いいえ）
基準8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準4 教育・学習
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
③学習成果を測定するために設定した指標は、大学のディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
④学習成果を測定するために設定した指標に基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①SSI内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

連帯社会インスティテュート

I 現状分析

基準1 理念・目的

1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①インスティテュートごとに、大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける人材育成その他の教育研究上の目的（教育目標）を明らかにしていますか。（はい・いいえ）
②インスティテュートごとに、人材育成その他の教育研究上の目的（教育目標）を学則又はこれに準ずる規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。（はい・いいえ）
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①インスティテュートにおいて、運営委員長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。（はい・いいえ）
②インスティテュートにおいて、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。（はい・いいえ）
基準4 教育・学習
4.1 達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示していること。
①授与する学位ごとに、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしていますか。（はい・いいえ）
②授与する学位ごとに、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）において、学習成果を達成するために必要な教育課程の編成（教育課程の体系、教育内容）・実施（教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等）方針を明確にしていますか。（はい・いいえ）
③また、カリキュラム・ポリシーにおいて、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしていますか。（はい・いいえ）
④上記の学習成果は授与する学位にふさわしいですか。（はい・いいえ）
4.2 学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。
①授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目を開講していますか。（はい・いいえ）
②各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化をしていますか。（はい・いいえ）
③「法政大学大学院学則」第15条（「単位」）に基づいた単位設定を行っていますか。（はい・いいえ）
④学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定を行っていますか。（はい・いいえ）
⑤学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化を行っていますか。（はい・いいえ）
4.3 課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。
①授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及びカリキュラム・ポリシーに応じたものであり、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
②それぞれの授業形態に即して、1授業たりの学生数が配慮されていますか。（はい・いいえ）
③ICTを利用した遠隔授業は「2023年度授業実施方針について」に沿って、適した授業科目に用いられていますか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られていますか。（はい・いいえ）
④単位の实质化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置を行っていますか。（はい・いいえ）
⑤シラバスの作成と活用をしていますか、また学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容になっていますか。（はい・いいえ）
⑥授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置を行っていますか。（はい・いいえ）
⑦研究指導計画（研究指導の内容及び方法、年間スケジュール）を書面で作成し、あらかじめ学生が知ることのできる状態にしていますか。（はい・いいえ）
⑧研究指導計画に基づく研究指導、学位論文指導を行っていますか。（はい・いいえ）
4.4 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

①成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。(はい・いいえ)
②成績評価及び単位認定にかかる基準・手続(学生からの不服申立への対応含む)を学生に明示していますか。(はい・いいえ)
③「法政大学大学院学則」第20条の2(入学前既修得単位の認定)に基づき既修得単位などの適切な認定を行っていますか。(はい・いいえ)
④「法政大学大学院学則」第22条(修了要件)に基づき卒業・修了の要件を明確にし、刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても、予め学生に明示していますか。(はい・いいえ)
⑤学位論文審査基準を定め、文章等によって予め学生に明示し公表していますか。(はい・いいえ)
⑥学位授与における実施手続及び体制が明確になっていますか。(はい・いいえ)
⑦ディプロマ・ポリシーに則して、適切に学位を授与していますか。(はい・いいえ)
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
①授業改善アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
②修了生アンケートの結果を組織的に活用していますか。(はい・いいえ)
【具体的な活用事例の記入】
基準5 学生の受け入れ
5.1 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。
①学位課程ごとに、アドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)を設定していますか。(はい・いいえ)
②上記のアドミッション・ポリシーは、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示していますか。(はい・いいえ)
③アドミッション・ポリシーに沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施していますか。(はい・いいえ)
④入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。(はい・いいえ)
⑤すべての志願者に対して分かりやすく情報提供していますか。(はい・いいえ)
基準6 教員・教員組織
6.1 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。
①インスティテュートの教員組織の編制は、「人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)」、「求められる教員像及び教員組織の編成方針」に整合していますか。(はい・いいえ)
②教員が担う責任は明確になっていますか。(はい・いいえ)
③科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成となっていますか。(はい・いいえ)
④各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理をしていますか。(はい・いいえ)
⑤教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現していますか。(はい・いいえ)
6.2 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。
①教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い、公正性に配慮しながら人事を行っていますか。(はい・いいえ)
②年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っていますか。また、性別など教員の多様性に配慮していますか。(はい・いいえ)
基準7 学生支援
7.1 学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。
①学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備していますか(補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。(はい・いいえ)
②障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っていますか。(はい・いいえ)
③学習の継続に困難を抱える学生(留年者、退学希望者等)に対し、その実態に応じて対応していますか。

(はい・いいえ)
④ ICTを利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応（授業動画の再視聴機会の確保等）を必要に応じて行っていますか。(はい・いいえ)
基準 8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準 9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準 4 教育・学習
4.5 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。
③学習成果を測定するために設定した指標は、ディプロマ・ポリシーに明示した学生の学習成果を把握・評価できる指標や方法になっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
④学習成果を測定するために設定した指標に基づき、定期的に学生の学習成果を把握・評価していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
4.6 教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学習成果の把握・評価の結果に基づいて、教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しをしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置に関する適切性の確認や見直しの基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
③教育課程及びその内容、方法、学生の主体的、効果的な学習のための諸措置について、外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、適切性の確認や見直しの客観性を高めるための工夫をしていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準 5 学生の受け入れ
5.3 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

②点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①インスティテュート内で教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②インスティテュート内で教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

総合理工学インスティテュート (IIST)

I 現状分析

基準1 理念・目的
1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①インスティテュートごとに、大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②インスティテュートごとに、人材育成その他の教育研究上の目的(教育目標)を学則又はこれに準ずる規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。(はい・いいえ)
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①インスティテュートにおいて、運営委員長及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②インスティテュートにおいて、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準5 学生の受け入れ
5.1 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。
①修士課程・博士課程ごとに、アドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)を設定していますか。(はい・いいえ)
②上記のアドミッション・ポリシーは、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示していますか。(はい・いいえ)
③アドミッション・ポリシーに沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施していますか。(はい・いいえ)
④入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。(はい・いいえ)
⑤すべての志願者に対して分かりやすく情報提供していますか。(はい・いいえ)
基準8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準9 社会連携・社会貢献

9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準5 学生の受け入れ
5.3 学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。
①学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握していますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
②点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述

【研究所】

I 現状分析

基準1 理念・目的
1.1 大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。
①研究所（センター）の理念・目的を明らかにしていますか。(はい・いいえ)
②研究所（センター）の理念・目的を規則等に明示し、かつ教職員及び学生に周知し、社会に対して公表していますか。(はい・いいえ)
基準2 内部質保証
2.1 内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。
①研究所（センター）において、研究所長（センター長）及び運営委員会等の権限や責任を明確にした規程を整備し、規程に則った運営が行われていますか。(はい・いいえ)
②研究所（センター）において、自己点検評価結果を活用して改善・向上に取り組んでいますか。(はい・いいえ)
基準8 教育研究等環境
8.1 研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。
①「法政大学研究倫理規程」に沿って、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
基準9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているこ

と。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
①「研究及び社会貢献に関する方針」のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っていますか。(はい・いいえ)
上記の現状分析結果において、【いいえ】と回答した項目があった場合は、その理由と改善計画について記入

II 改善・向上の取り組み

1 2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応

2023 年度大学評価委員会の評価結果への対応状況

2 各基準の改善・向上

基準6 教員・教員組織
6.3 教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。
①研究所（センター）内で教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述
基準9 社会連携・社会貢献
9.1 社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。
②社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっていますか。(S・A・B) 上記項目について【SまたはB】と回答した場合は、その内容について記述